

平成 31 年度工学部編入学試験問題 市民工学科

小論文問題

先日発生した平成 30 年 7 月豪雨、いわゆる西日本豪雨は、西日本を中心とした多くの地域で河川氾濫や浸水害、土砂災害を伴い、200 人を超える死者を出すという甚大な災害であった。上水道や通信といったライフラインに被害が及んだほか、広域的・長期的に交通障害が発生し、今日に至るまで復旧していないインフラも多い。本災害に対する知見を交えながら、この未曾有の災害から得られた教訓と、豪雨災害に対する今後の社会基盤整備のあるべき方向性をハードとソフトの両面から論じなさい（1200 字程度）。